

1971

シリーズ
とやま20世紀

昭和46年6月1日(火)

立山黒部アルペンルート 全線開通

20年近い歳月をかけて整備が進められていた立山黒部アルペンルートは、1970(昭和45)年12月に最後の難所立山トンネル(室堂～大観峰)が完成、雪解けを待って1971(昭和46)年6月1日に全線開通した。富山から信濃大町まで3000メートル級の山々を越えて観光ルートを貫通させるという世紀の大構想が遂に実現し、立山は年間数万人の登山の対象から、百万人の観光客が訪れる国際的山岳観光ルートへと変貌したのである。ただし、自然環境保護のため、マイカーの乗り入れは禁止され、上高地などの他の観光地のモデルとなった。

近年でも、立山トンネルバスのトロリーバス化(平成8年)、高原バスへのハイブリッドバス導入(平成10年)など、自然との共存に向けた取り組みが続いている。

天狗平に行く高原バス

